

富山市地域公共交通網形成計画に係る令和2年度実施事業について

公共交通の活性化に向けた基本方針における交通施策について

本計画の各基本方針における、令和2年度の主な交通施策の取り組みは、次の通りである。

1. 基本方針① 公共交通軸の活性化によるコンパクトなまちづくりの実現

(1) 鉄軌道活性化計画

1) JR高山本線の増便

事業主体：西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：利用者が多く、増便の効果が高い朝夕の時間帯の増便（41本／日のうち7本／日）運行を継続して行う。

2) 富山地方鉄道不二越・上滝線の増便

事業主体：富山地方鉄道(株)

内 容：増発社会実験時と同等の58本／日（平日）の運行を継続して行う。

3) あいの風とやま鉄道線の新改札の設置等による機能強化

事業主体：あいの風とやま鉄道(株)・富山市

内 容：平成28年9月に市街化編入した東富山駅東側地区及び呉羽駅北側地区での住居系を主とする開発により、今後、駅周辺居住者の増加が見込まれることから、駅利用者の利便性向上のため、東富山駅東口改札設置工事及び呉羽駅北口改札設置に係る詳細設計を行う。

4) あいの風とやま鉄道線の新駅整備

事業主体：あいの風とやま鉄道(株)・国・富山県・富山市

内 容：あいの風とやま鉄道線沿線の下富居外地内県有地の開発にあわせ、鉄道の利便性向上を図るため、「富山～東富山間」新駅の設置工事（令和元年度着工）を行う。

(2) 幹線バス活性化計画

1) WEB上での経路検索情報の提供

事業主体：富山地方鉄道(株)・富山県・富山市

内 容：富山地方鉄道と市が、標準フォーマットに基づきオープンデータ化したバス情報を、県が取り纏めて乗継検索サイトに提供することで、複数の検索サイトで利用が可能となっており、引き続きこれらのデータ更新を行う。

2) パーク&バスライド、サイクル&バスライド

事業主体：富山市・富山地方鉄道(株)

内 容：バスの利用圏域の拡大を図るため、バス停周辺に整備したパーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の利用啓発を行う。

2. 基本方針② 地域特性に応じた多様な生活交通の確保

(1) 生活交通サービス整備方針

1) 公営コミュニティバス等の効率的な運行

事業主体：富山市

内 容：民間の交通事業ではカバーできない地域において、市が運行主体となり、公営バスや乗合タクシーを運行することにより、公共交通空白地域の解消や市民の日常の足となる生活交通の確保に努める。

2) 地域自主運行バスの導入支援

事業主体：富山市

内 容：地域等が主体となって運行するバス事業に対して、運行費の補助、バス車両の無償貸与等の支援を行う。

3) 生活バス路線（民間赤字路線）の維持

事業主体：国・富山県・富山市

内 容：市民生活にとって重要な生活バス路線は、国・県・市が連携して引き続き支援を行い、路線の維持に努める。

3. 基本方針③ 公共交通利用促進

(1) モビリティ・マネジメントの計画的実施

1) 多様な場面・手法での情報発信（とやまレールライフ・プロジェクト）

事業主体：富山市

内 容：マスメディア、情報誌やインターネット環境を活用するとともに、各種イベント等の機会も捉え、市民に向けて広く公共交通の利用促進について情報を発信する。

2) 多様な主体に応じた情報提供（駅・バス停別の利用促進啓発活動）

事業主体：交通事業者・富山市

内 容：特定の駅やバス停に特化した時刻表・マップ等の利用啓発ツールを使用し、戸別訪問やアンケートによる利用啓発活動を、交通事業者と市が連携して実施する。

3) 将来世代に対する公共交通への意識啓発（のりもの語り教育）

事業主体：富山市

内 容：小学校 3～6 年生の社会科や総合的な学習の時間における、交通環境学習「のりもの語り教育」の実施を推進する。

(2) IC カードの多様な活用

1) IC カード機能付き学生証の導入支援

事業主体：富山地方鉄道(株)・富山市

内 容：公共交通の利用促進及び中心市街地の活性化を目的とし、市内電車環状線沿線等に立地する専門学校への交通 IC カード（えこまいか）の機能を付けた学生証の導入について、引き続き支援を行う。

【令和 2 年度 対象校】

富山リハビリテーション医療福祉大学校



交通 IC カード機能を付与した学生証

2) 公共交通機関相互の接続性の向上（全国共通交通系 IC カードシステムの導入）

事業主体：富山地方鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：来街者に対する利便性の向上や富山駅の交通結節機能強化、キャッシュレス化の推進を図るため、令和 3 年 10 月頃を目標に、路面電車へ全国共通交通系 IC カードによる決済システムを導入する。

(3) ICT を活用した公共交通機関のロケーション情報などの配信

事業主体：富山県地域公共交通情報提供推進協議会

内 容：渋滞（特に降雪期）などで定時性の確保が困難なバスを安心して待つことができるよう、県内全域の民営バスと公営バスを網羅したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」が令和元年11月から運用されており、その維持管理を行う。



(4) 交通によるおもてなし環境の創出（グリーンスローモビリティ運行事業）

事業主体：富山市

内 容：富山駅北地区の賑わいの創出や、公共交通空白地域における新たな移動手段としての導入可能性の検討のため、低速で安全な「グリーンスローモビリティ」（電動で、時速20km未満で公道を走行する4人乗り以上のモビリティ）を運行する。

